広報
さめがわ

昭和５１年
10月号
No. 274
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町佐藤印刷所



お年よりを尊敬しましょう!!

長い年月を家庭のため、社会のため働き続けてきたお年よりの皆様。

よろこびも悲しみも踏みこえて、長い人生をひたすら生きぬいてきたお年よりの皆様。

皆様はいくたびかの冷害にも屈することなく、戦争にも災害にも耐え抜いて、現在の社会や経済や文化を私たちに築いてくれた功労者です。尊敬すべき高令者、感謝すべき私たちの大先輩です。

鮫川村では９月１５日の敬老の日に、８０歳以上の高令者に石田村長からお一人づつ心からなる敬老年金を贈りました。

- ⊙ １日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ １０月１日から赤い羽根共同募金運動
- ⊙ 第３日曜日は『家庭の日』

今月の人口

（10月１日現在）

人　口	5,903	(+12)
男	2,979	(+６)
女	2,924	(+６)
世　帯	1,164	

議員団の冷害調査





鮫川村の９月定例村議会は９月25日から４日間を会期として開会され、50年度決算案その他を慎重に審議されましたが、閉会後直ちに村内の冷害調査に着手され、秋雨ふりしきる中を激甚被害地を廻り、実態の把握と対策の検討に努められました。

共に力をあわせて冷害を克服しょう!!

今年の農作物は、低温、日照不足などの異常気象に痛めつけられ、稲の青立ちや不稔、こんにゃくは肥大率が悪く、生子の着きかたも少ないなど、まれにみる冷害となり、大減収は必至となりました。

現在この対策がいろいろ検討されていますが、その主なものは次のとおりであります。

◎国が天災融資法を発動し、災害経営資金を貸出す。この資金は種苗、肥料、飼料、薬剤、小農機具、家畜、その他農業生産資材の購入費にあてるためのものです。

◎被害地域内に、道路工事などの土木事業を起し、農家に現金収入の途を開く。

◎規格外米を、自主流通米、政府米などに全量販売できるように要請する。

◎来年の種籾の確保。

◎農業共済金の早期支払。

ほかに、農業経営や、農家生活面についても対策が検討される予定です。

以上の各種施策が実施される場合は、それに対する、災害農家の申請や、資料の提出が求められ、これが、急を要することが多いと思われます。今後村や農協などから、調査書などの提出を求められたときは、早急に適正な報告をされるようお願いします。

また冷害は連続してあるといわれています。来年の稲作は、冷害に強い品種を選定し、育苗法や施肥法を十分検討し、今から再生産のために強い意欲をもって下さい

人事（一〇月一日付）

選任

教育委員会委員　高坂　尹

教育委員会委員　船木　操

退職　市村サヱ（母子健康センター用務員）

採用　菅野ギン（母子健康センター用務員）

昇格

任技師　森　洋（技師補）

任保母（四等級）水野朋子（五等級）

任保母（四等級）遠藤サト子（五等級）

深刻化した冷害に対処して

村長　石田　卯子八

技術の歩み（18）

阿武隈山系地域は海洋気象の影響をまともに受ける地帯で、岩手県の北上山系とともに昔から冷害常習地帯といわれてきたところであります。

近年農業技術の進歩もあって、大冷害という程のものはなかったのですが、今年程度の異常低害が稲の出穂開花期以後にくると大きな被害を避けることは、現在の技術水準では先づ困難といわなければなりません。

冷害の原因となるのはいうまでもなく低温、長雨、日照不足病害などですが、今年の場合は異常低温が大きく作用していることが感じられます。

今年の気温の推移で特徴的なことは、最近一〇年間の平均気温を著しく上下していることであります。

四月上旬低く、中下旬高く、五月上旬低く、同下旬から六月上旬まで高く、その後六月中下旬から七月上中旬にかけて低く、同下旬に一旦平年に達したものの、肝腎な八月一杯から九月上旬にかけて著しく低く、いわゆる異常低温の冷夏となりました。

稲の収量に決定的な影響を及ぼす期間の気温を、最近一〇年間の平均気温との開きでみると、次のようになります。

七月上旬	△三・四度
中旬	△二・二度
下旬	〇・三度
八月上旬	△二・二度
中旬	△三・二度
下旬	△一・七度
九月上旬	△〇・二度

この気温の推移は稲の出穂開花期を一〇日以上もおくらせ、更にその出穂開花期に旬平均C3°以上も低い異常低温と連日の降雨に見舞われ、生理的な花器障害、稔実障害を決定的にしたものと見られます。

品種や耕種法や肥培管理によって大きな較差が出ることは勿論ですが、耕地の標高によって減収率が顕著に開いてきたことも争えない事実となりました。

この事態に直面して村は実態の調査把握に努めるとともに、対策の検討立案、陳情請願による国県施策の促進と導入、農業団体や共済機関の活動促進に努力中であります。

村議会も二日間にわたって村内の現地調査を実施され、鋭意対策を検討されております。

去る九月六日、時の農林大臣安倍晋太郎氏が本県に来られた際、私は阿武隈山系町村を代表して、阿武隈冷害の実情を説明し、対策の実施を強く要請しました。

救農土木事業の施行による賃金収入の機会を多くすべきことは、その際も特に強調したところで、村はその他の諸対策とあわせ、是非実施しなければならない施策であります。

来年8月完成

待望の山村開発センター いよいよ着工される

工事費一億七、三二五万円

村民総親和の場、憩いの場、研修の場、そして村のたくましい後継者を育成する場となる施設「総合開発センター」は、赤坂中野巡ケ作地内館山のふもとに設置されることになり、只今整地工事が進められています。

建物の建築工事は、九月二五日に行われた指名競争入札の結果、本体工事、電気設備、機械設備、空調設備工事と分離して落札者が決まり、九月二七日の議会で議決された後、次のとおり請負契約が成立しました。

○本体工事
鉄筋コンクリート二階建、一部鉄骨造（一、三七〇・五五七㎡）
附帯施設（一四㎡）
契約金額　一億二、三八〇万円
請負者
郡山市　村越建設株式会社

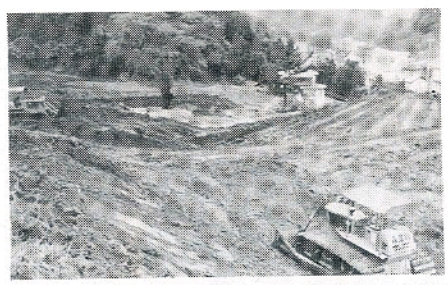
○電気工事　一式
契約金額　一、七二五万円
請負者
郡山市　公営設備株式会社

○機械設備工事　一式
契約金額　一、三三〇万円
請負者
白河市　山田設備工業株式会社

○空調設備工事　一式
契約金額　一、八九〇万円
請負者
福島市　大槻電設工業株式会社



今年の敬老会は、9月15日鮫川小学校の体育館で例年にも増して盛大に行われました。この日スクールバスで村内各地から迎えられた高令者は、会場にあふれんばかりで、小湊民謡会一行の歌や踊りでたのしい一日をすごされました。



急ピッチで進む総合開発センターの整地造成工事

健康で明るい家庭をつくりましょう!!
乱診・乱療は逆効果

①お医者さんを信頼しましょう。
診療の効果を大きくするのは、患者とお医者さんとの人間関係です。このお医者さんときめたら、あちらこちらの医院等を回って乱診しないことです。

②休日受診をさけましょう。
急病以外は、休日受診や、深夜の時間外受診は、医療費が高くお医者さんにとっても迷惑なことです。このような受診はなるべくさけましょう。

③薬を有難がるのをやめましょう
薬ばかりで病気は治りません。病気を治すものは体力です。薬の盲信をやめて、体力づくりを心がけましょう。

④早期発見・早期治療を心がけましょう。
病気は早いうちに発見し、早く治療をするのが理想的です。中年をすぎたら年に一回（理想的には二回）ガンの検診や成人病の検診を、進んで受けるようにしましょう。

今月の納税

国民健康保険税　第四期
村県民税　第二期
国民年金　第三期

納期限　10月25日

おめでた

九月

青生野　岡部久子　父岡部照夫
広畑　室井理花　父室井勝良
新宿　岡崎進也　父岡崎良一
中内中川西ひろみ父中川西一美
道少田　本橋俊英　父本橋隆宏
浅屋敷　鈴木美幸　父鈴木幹宏
青生野　岡部美由紀　父岡部利雄
青生野　生田目実香父生田目忠一
中山　芳賀辰也　父芳賀敏彦
関口　蛭田忠幸　父蛭田洋二

おくやみ

九月　世帯主

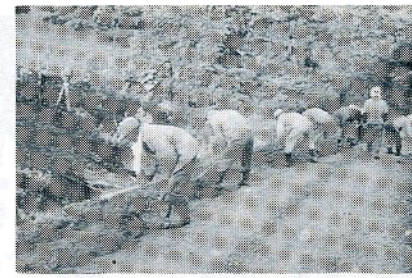
青生野　藤田トラ79才藤田亀太郎
青生野　長井キヨ96才長井　久

よろこばれる道路標識

青年会で設置

この程、西野、西山、東石青年会では、地域内の複雑な道路を通行者が間違わないようにと、案内標識を設置し、通行人やドライバーから大変よろこばれています。





今年の秋季清掃と道路愛護作業は、9月29日村内一斉に行われました。特に道路愛護作業は平日とあって出勤前の作業が目立ち早朝から汗を流して熱心な作業が行われました。

年金の通算

二〇才以上の方は、国民年金や厚生年金・共済組合年金などのいずれかに加入しなければならないことになっています。これらの年金加入期間をそれぞれつなぎ合わせて、将来年金を貰うようにするのが通算年金です。

たとえば、国民年金に一五年間加入し、その後会社に入り厚生年金に一〇年間加入した場合は、国民年金からは六五才から一五年分の年金を、厚生年金からは六〇才から一〇年分の年金をそれぞれ支給されます。

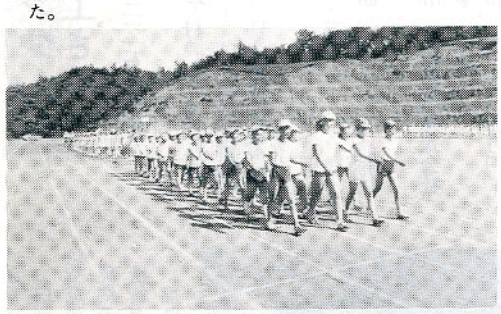
このように国民年金と通算されるためには、年金の資格に異動があった場合に、必ず国民年金の**「資格取得届」**又は**「資格喪失届」**をしなければなりません。

くわしいことは住民課福祉年金係におたずね下さい。

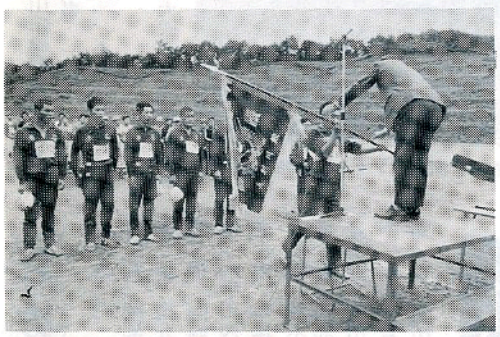
スポーツの秋



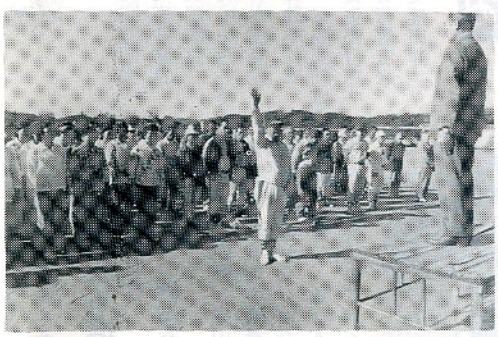
9月26日、保育所では、待ちに待った運動会。お父さん、お母さんも一諸にほんとに楽しい一日でした。



村内各小学校4学年以上の児童で行う連合運動会今年は9月29日、400名の児童が参加しました。



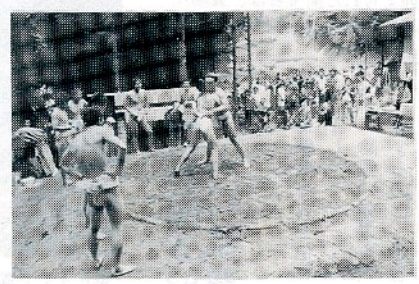
今年から初められた青年ソフトボール大会は、12チームが参加。熱戦のすえ、広畑チームが優勝、準優勝は西山(A)チーム。



各大字でも盛んにソフトボールやバレーボールの競技が普及し,9月23日には西野、西山、東石、渡瀬区。26日には富田区でそれぞれ盛んな区民の競技大会を開催しました。写真は西野区大会の開会式。

よみがえった青年相撲

西野青年会の手で—



昔から伝わる伝統の熊野神社奉納相撲を復活させようと、西野青年会員は自分たちの手で神社境内の一角を切り開き、立木を伐採、整地して立派な土俵を作りあげました。

秋祭りの一〇月一日には、土俵開きをかねて盛んな青年相撲が行われましたが、これを聞いた帰省中の幕下・清勢竜（東村出身）もかけつけ、マワシを締めて土俵に上り、青年に胸を貸すなどして土俵開きに花を添えました。

農繁期の火災予防

農繁期を迎え、留守になる日が多くなります。

子供の火遊びには特に注意し、火の元の安全を確かめてからお出かけ下さい。

◎マッチやライター等は子供の手の届かない所に置くこと

◎ガソリンや灯油等は安全な場所に保管して使用すること

◎戸締りをきちんとし、防犯防火に心がけましょう。

なお、わが村では一〇月一日現在**「無火災五三九日間」**を記録しました。これからもみんなで火災予防に協力し、この記録を延長しましょう。

白河消防署鮫川出張所

お礼 — さぎり荘

このたび次のご寄贈をいただきました。紙上より厚くお礼申しあげます。

大花瓶（九谷焼）一個
東石老人クラブ様